

経営学部 リフレクションペーパー

2013年度 <後期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 (曜日・時限) 流通システム論Ⅱ (水曜6限・金曜3限 [2クラス開講]) 流通企業戦略論 (金曜5限) 流通企業戦略論Ⅱ (金曜6限) ※ 旧カリキュラム科目 (2009年度までの入学生対象)
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論Ⅱは、2クラスとも10段階評価で平均8.6、流通企業戦略論については、10段階評価で平均8.8であり、各質問項目に対する評価も含め、ほぼ例年通りの結果であった。ほとんどの項目について全科目平均を上回っており、全科目の概ね学生から高評価を受けていると考える。特に、流通企業戦略論については、話し方の明瞭さ (5段階評価で4.7)、資料の提示の明瞭さ (4.6)、説明の分かりやすさ (同4.6)、教員の授業準備 (同4.6)、教員の熱意 (同4.6) などの項目で高評価を得ることができた。なお、旧カリキュラム科目の流通企業戦略論Ⅱの結果に関しては、履修者数、有効回答数ともに5未満であり、統計的には意味をなさない数値であると考えられる。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 昨年度と同様に、流通企業戦略論では、15回の講義でシラバス記載の講義予定をすべて消化するために、時間のかかりやすい板書形式ではなくスライドショー形式を採用した。学生が“ただ画面を眺めるだけ”に陥ることを防ぐために、スライドショーの一部を穴埋め形式にした配布資料を別途作成し、学生が授業を聞きながら空欄を補えるようにした。また、映像資料を適宜提示して学生の関心の喚起に努めた。これらの工夫に対して、学生からは、「レジュメが書き込み式なのでわかりやすい」、「毎回資料映像がありあきずに受講できた」、「最新の情報が多くニュースを見てもおもしろかった」など、多くの好意的な感想を得た。流通システム論Ⅱに関しては、特に金曜クラスにおいて授業中の私語に対する不満が多かった前期 (流通システム論Ⅰ) の結果を踏まえて、私語をしている学生に対して授業を中断してでも注意するよう心掛け、静粛な授業環境の維持を図った。アンケートでは、「前期に比べると静かになったように思う」というコメントが見られた一方で、「たまにうるさい時があるのが気になった」、「少し私語が目立った」、「私語をしても明確なペナルティがないために、ずっと話している人が多数いた」などの意見も散見された。
3. 今後の改善点 スライドショー形式の講義におけるスライドの切り替えのタイミングについて「丁度良いペース」、「テンポが良い」などの意見と、「少し早い」、「たまにスライドに追いつけず板書が出来ない時があった」という意見の両方が見られた。次年度も引き続き最適な授業進行速度を模索したい。 また、一部ではあるが「図が分かりにくい」 (流通システム論Ⅱ金曜3限クラス)、「難しい」 (流通企業戦略論) といった意見があった。学生の問題意識を喚起しつつ理解しやすい授業を今後も心がけたい。